

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	2	財政管理費	60

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	財政管理
事業目的	将来にわたり、限られた財源の中で効率的、効果的な行政サービスを提供するよう財政運営を行う。
事業内容	<p>●全体計画 将来にわたり、限られた財源の中で効率的、効果的な行政サービスを提供するよう財政運営を行う。</p> <p>●主な事業内容</p> <p>○財政管理 財政管理及び契約検査事務を行う。 ・普通旅費（愛知県庁への出張等）：41千円 ・消耗品費（参考書籍、事務消耗品等）：264千円 ・印刷製本費（令和7年度当初予算書）：601千円 ・手数料（市債残高証明）：2千円 ・使用料（工事实績等照会システム）：20千円</p> <p>○財政調整基金積立金 利息相当額の積立て ・積立金：857千円</p> <p>○減債基金積立金 利息相当額の積立て ・積立金：155千円</p>
事業の目標	適切かつ効率的・効果的な行政サービスの提供を行える財政運営を継続する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
財政管理	928	0	0	0	928	100%
財政調整基金積立金	857	0	0	857	0	0%
減債基金積立金	155	0	0	155	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,940	0	0	1,012	928	48%

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	3	財産管理費	62

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公有財産マネジメント
事業目的	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなくなり不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。 売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。
事業内容	<p>●主な事業内容 公有財産マネジメント</p> <p>○普通財産の適正な維持管理を実施 ・財産異動報告書の処理、財産台帳の更新、財産報告書の調製、除草業務の発注・管理、土地建物の貸付事務、要望・苦情対応、境界立会い</p> <p>○行政目的がなくなり不用となった土地の有効活用・売却の検討とそれに伴う事務手続きを実施</p> <p>○民間活力（ノウハウ、アイデア）の導入として民間提案制度等を活用する。</p> <p>公共施設等管理基金積立金</p> <p>○使用料の一部（定額）、不用となった土地の売却によって生じる売却益を公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントのための財源確保を図る。</p> <p>●主な予算の内訳</p> <p>○公有財産オークションシステム利用料（売却想定額の5%）：3,128千円</p> <p>○不動産鑑定委託料（時点修正）：44千円</p>
事業の目標	普通財産の管理については、費用対効果を意識し効率的な維持管理に努める。 不用となった土地の売却は、インターネットオークションを活用することに加え、様々な媒体で周知を図ることで速やかに高額な価格での売却に繋がるよう取り組む。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
公有財産マネジメント	4,656	0	0	0	4,656	100%
公共施設等管理基金積立金	76,967	0	0	56,967	20,000	26%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	81,623	0	0	56,967	24,656	30%

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	13	ふるさと納税推進費	92

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	ふるさと犬山応援寄附金
事業目的	犬山市にふるさと納税を行う寄附者に対し記念品を贈呈したり、犬山市に訪れた人が利用できる現地決済型のふるさと納税サービスを推進することで寄附を募り、自主財源の確保や、市内事業者のPR、消費を伴う産業の活性化を図る。なお、寄附金についてはふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として、毎年1月～12月の寄附金を翌年度の事業に充当している。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市外からのふるさと納税に対し、記念品の贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・申し込み方法は3種類（インターネット申し込み、郵送受付、窓口受付） ・支払い方法は3種類（カード決済などのキャッシュレス決済、銀行振り込み、納付書） ○寄附金の使い道は、原則として以下の9つから寄附者が選択 <ul style="list-style-type: none"> ・市長にお任せ、子育て、教育、産業、健康、歴史文化、福祉、環境、都市基盤 ○寄附金はふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として1月から12月までの寄附金を翌年度の事業に充当 ○寄附件数の増加を促すためにPR事業、魅力的な記念品開発等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成、WEB広告、紙面広告など ・新たな地場産品及び現地体験型の記念品の開拓 <p>●主な予算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと納税記念品：201,000千円 ○ポータルサイトサービス利用料等（手数料、委託料）：88,997千円 ○広告料：6,050千円 ○積立金：670,000千円
事業の目標	寄附者の傾向を分析し、効果的な宣伝広告を行うことや記念品のラインナップを拡充することに加え、犬山市に訪れた人が利用できる現地決済型のふるさと納税サービスを推進することで寄附金の獲得に取り組む。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
ふるさと納税推進	297,468	0	0	254	297,214	100%
ふるさと犬山応援基金積立金	670,000	0	0	670,000	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	967,468	0	0	670,254	297,214	31%

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
11	1	1-2	元金・利子	300

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公債費
事業目的	国から交付されるべき地方交付税の不足分を補うために設けられている臨時財政対策債や公共施設の整備などの財源として国や銀行などから借りている借入金を返済する。
事業内容	<p>●全体計画 国から交付されるべき地方交付税の不足分を補うために設けられている臨時財政対策債や公共施設の整備などの財源として国や銀行などから借りている借入金を返済する。</p> <p>●主な事業内容 ○市債償還元金：1,906,660千円 減債基金より臨時財政対策債の償還元金に充当するため100,000千円を繰入 ○市債利子：67,776千円</p>
事業の目標	借入ごとに定められた期日に滞りなく返済する。また、市債の借入については期間や規模、借入先について、少しでも有利な条件を設定するとともに、後年の負担にも考慮する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
市債償還元金	1,906,660	0	0	100,000	1,806,660	95%
市債利子	67,776	0	0	0	67,776	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,974,436	0	0	100,000	1,874,436	95%

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
12	1	1	土地取得費	300

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	普通財産取得費
事業目的	普通財産として土地を取得する。
事業内容	事業実施の予定がないため、頭出しのみの計上
事業の目標	事業実施の予定がないため、頭出しのみの計上

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地取得費	1	0	0	0	1	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1	0	0	0	1	100%

令和6年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
13	1	1	予備費	302

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	予備費
事業目的	緊急的に必要となる各部署において予算計上のない支出や予算を超過する支出の財源とする。
事業内容	緊急的に必要となる各部署において予算計上のない支出や予算を超過する支出の財源とする。 令和4年度充用実績：41件、91,919,000円
事業の目標	当初予算編成では、限られた財源を必要最低限となるよう各所管各費目へ予算配分していることから、補正予算や予算流用では対応が困難な緊急の財政需要に備える。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
予備費	60,000	0	0	0	60,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	60,000	0	0	0	60,000	100%